

メンバー、ボランティア、学生  
みんな仲間!

平成 29 年 4 月号

# けやきと仲間 めーる



こころの病と闘っている人々と千葉大学生や周囲地域との協働の会 地域活動支援センター「けやきと仲間」  
平成 29 年 4 月 1 日(第 144 号)

～3 月 12 日(日)

スプリングフェスティバルが開催されました～



糸日谷さんが書いたポスターが最優秀賞に選ばれ表彰されました。  
司会は今年も、合間さん・中村さんがやりました！  
けやきと仲間はウクレレ演奏で発表をしました。  
他にも、バザーでチーズケーキやお花を売ったり、よさこいソーランを踊りました。

## ～福祉環境交流センターを使わせていただきありがとうございました～

### パソコン教室、パン販売での思い出

・ボランティアの西條さんに封筒に住所等を印刷する方法を1対1で丁寧に教えて頂いたことが忘れられません。仕事をしたという実感を経験できました。

・西條さんに戦争の話やご自身の経験談などをお聞きする機会もあり、自分の生きる道を考えたりした空間でした。

・パソコンがうまい兄への劣等感から、パソコン恐怖症(?)だった自分が恐る恐るパソコンに触れたのが昨日このとのです。今では仕事で入力ができます、感謝です。

・インターネットの使い方を知って視界が広まりました。就労に向けての情報収集もここがスタートでした。その情報のおかげもあり、今働いています。

・パソコンに触れず、ずっと話し込んでいたこともありました。ここに来れば気の置けない人に会える安心感がありました。

・大学内の自然に癒されながら、パン販売やパソコン教室に向かいました。随分迷子にもなったけれど、それも良い思い出です。

広井先生にはテレビでしかお目にかかれなかったけれど、先生のあたたかさを充分感じることが出来ました。

・コーナーのソファで、パン販売の合い間の休憩、終わってからの昼食、ティータイムなどでホッとできました。



### 広井先生からメッセージが届きました。

センターを利用されていた団体の方々がそれぞれ活躍し、また社会的発信を続けておられること、感服しています。

千葉大には幸い客員教授という形で接点をもたせていただいております、京都と毎週往復していますので、引き続きどうぞよろしく願いたします。

### ～池田三友紀さん～

2月28日今年もあの教会の前でたずみました。三友紀さんがスタッフとして数ヶ月の間、「けやきと仲間」に通っていた道でもありますね。三友紀さんが亡くなってもう7年になるのですね。今年の2月15日に亡くなった三友紀さんのお母さまは、「4月になったら西千葉へ行こうね」と話されていたとお父さまからお聞きました。お母さまはよく「亡くなった1歳の息子と23歳の三友紀を力いっぱい抱きしめてあげたい」とおっしゃっていました。お父さまも「親子3人で笑っていてほしい」と。

三友紀さんの包み込んでくれるようなあたたかな笑顔はお母さま似だったのですね。今年も「一緒にピアサポ行ったよな」と三友紀さんのことを語り合う私たちがいましたが、昨年までとは少し違った雰囲気なものでした。





## 川柳

くしゃみ出る水着姿のスプリング

耳垢が取れたみたいなきい声

バイトしてやっと気づいた親の愛

メールするいやその前に読み返せ

ウクレレでデビューしました土曜日

旨すぎる母の豚汁土曜日

初参加一家総出の鍋洗い

いつですか実習生とバス旅行



弟を占う兄はめい易者